



ゆづりは

堺市立図書館だより

第6巻 第3号 (通巻21号)
 発行日 平成23年12月10日
 編集・発行 堺市立中央図書館
 〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1
 電話 072(244)3811
 Fax 072(244)3321
 URL <http://www.lib-sakai.jp/>

ひきふだ

明治時代の「絵はがき」「引札」「古写真」など デジタルアーカイブ公開

図書館では本だけではなく、明治時代の引札や古写真、絵はがきなどの資料も保存しています。今回は、これらのうち約500点をデジタルアーカイブ化し、42インチ大型ディスプレイでご覧いただけるようになりました。



デジタルアーカイブ化により、現物では読み取れないような背景の細かな文字を拡大したり、気になるキーワードで画像を検索することができるなど、原資料を傷めることなく、より便利に活用いただくことができます。中央図書館一般閲覧室に常設しておりますので、貴重な資料の数々をぜひご覧ください。

公開に先立ち開催した資料展「引札と写真で見る明治の堺」では、堺の歴史を体感いただこうと、デジタルアーカイブと、原資料の一部をあわせて展示しました。



引札：店や商品を宣伝する現代の広告チラシにあたるもの
デジタルアーカイブ：歴史的文化的資料をデジタル化して保存し、後世に継承していくこと

きょくどうなんりょう

旭堂南陵氏講演会 「引札の魅力と堺あれこれ」

資料展期間中の11月27日(日)、引札のコレクターとしても知られている講師・旭堂南陵氏の講演会を開催しました。



講演は引札の由来から始まり、ご自身で収集された引札の複写を示しながら、引札のデザインの魅力やその歴史的価値など、生まれ育った昔の堺の思い出話も交え、語っていただきました。



まちの記憶を記録に 「堺メモリー」 サポーター募集

あなたがお持ちの写真は貴重な歴史資料かも？図書館では古い写真などをデータ化して残す「堺メモリー」事業をはじめます。このたび、写真で地域を記録するための講座の開催を予定しています。平成24年

1月29日(日)と2月5日(日)の2日間。申込受付は1月5日(木)から。詳しくは、中央図書館(Tel.244-3811)まで。

目次

デジタルアーカイブ公開	… 1
旭堂南陵氏講演会 引札の魅力と堺あれこれ	… 1
「堺メモリー」サポーター募集	… 1
シリーズ堺の〇〇 堺の人物 鳥井駒吉	… 2
生きる力をはぐくむ本との出会い 平成23年度堺っ子読書フォーラム	… 2
電子書籍新着情報	… 2
この本で解決！ ～与謝野晶子について調べる～	… 3
堺かるた いろはの「そ」	… 3
資料(点検)整理期間による 休館のお知らせ	… 3
司書のイチ押し！ 『流れる星は生きている』	… 4
知的書評合戦 「ヒブリオバトル」開催のお知らせ	… 4
堺市立図書館電話番号一覧	… 4

ゆづりは

とは・・・

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
ゆづりゆづりて 譲り葉の
ゆづりしあとに また新しく

この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。(河井醉茗氏については、「ゆづりは」通巻第1号にご紹介しています。)



シリーズ 堺の〇〇

堺の人物 鳥井 駒吉



鳥井駒吉は嘉永6年(1853)、堺の宿院に生まれました。父は酒造業を営み、「春駒」という日本酒を醸造していました。

「春駒」は駒吉の名前から取られたものと言われています。

父の死後17才で酒造業を継ぐと、堺酒造組合の初代組長に就任、後に堺醸造改良試験所を設立、それまでの樽詰めしていた酒をビン詰めにして販売したり、日本酒を国内だけではなく、韓国・ロシア・アメリカ等の海外にも輸出したりするなど、酒造業界のリーダーとして頭角をあらわします。

明治26年には個人経営の店を鳥井合名会社として会社化しました。また当時高級だったビールの国産化を推進、大阪麦酒会社を立ち上げて吹田にビール工場を開き、アサヒビールの礎を築きました。今でも吹田のアサヒビール工場には、創業当時の建物の一部が残されているそうです。

駒吉は醸造業だけでなく、堺貯蓄銀行の創設や阪堺鉄道株式会社の創立に関わり、南海鉄道株式会社の取締役や泉州紡績株式会社の監査役を務めるなど、経済界に大きな足跡を残しました。



鳥井合名会社の引札(中央図書館所蔵)

この引札は駒吉が会社化した「鳥井合名会社」のもので、醸造していた日本酒「春駒」、樽の横にはアサヒビールのビンが描かれています。

参考資料

- ・『堺市史』第7巻別編 堺市役所
- ・『Asahi100』アサヒビール株式会社
- ・『われ、官を恃まず 日本の「民間事業」を創った男たちの挑戦』産経新聞ニュースサービス

※鳥井合名会社の引札をはじめとする中央図書館で所蔵の明治時代の引札(約100点)はデジタルアーカイブ化されており、中央図書館設置の大型ディスプレイでご覧いただけます。

「生きる力をはぐくむ本との出会い」
平成23年度堺っ子読書フォーラム

平成23年10月30日(日)、「堺市子ども読書活動推進会議」主催の「堺っ子読書フォーラム」が開催されました。



平成24年1月の
保護者向け講座開催予定

「ルンルン楽しく子育て」

1月13・20・27日(金) 南図書館

「幼い子どもと楽しむわらべうた」

1月25日(水) 中図書館

『読み聞かせ』から『ひとり読み』へ

1月26日(木) 西図書館

「乳幼児の成長と絵本を楽しむための講座」

1月26日(木) 北図書館

フォーラムの前半は学校、図書館から現在取り組んでいる事業報告、こども青少年局からさかい☆HUGはぐメールによる情報提供の紹介がありました。また、おはなしボランティアグループ「おはなしかご」の発表では、活動内容の紹介と、おはなしの実演がありました。

後半の南野忠晴氏による講演では、家庭科教員になった経緯や著書『正しいパンツのたたみ方』執筆のきっかけなど、本と人との出会いについて、具体的なエピソードを交えて話されました。「さまざまな出会いが生きる力をはぐくむ。自立できていると、人生はさらに味わい深くなる」と結ばれた講演は、楽しい授業のようでした。

参加された方々からは、「ボランティアグループの『おはなし』に感動した」、「堺市が子ども読書活動推進のために多彩な活動を行っていることが分かった」といった声がよせられました。

電子書籍
新着情報

平成23年1月から提供している電子書籍に、新しい本が加わりました。法研出版の「正しい治療法がわかる本」シリーズや、女子栄養大学の「かんてんレシピクラブ」、エクスナレッジの「最高の住宅をデザインする方法」など、実用書を中心とした88タイトルです。電子書籍はかしだしカードと、パスワードがあれば図書館ホームページから24時間いつでも利用できます。 URL(<http://www.lib-sakai.jp>)



この本で解決！

～与謝野晶子について調べる～

堺出身の歌人、与謝野晶子については、さまざまな問い合わせがあります。どのような資料を使ってお答えしているか、ご紹介します。

Q.「かくばかり なよなよとした ○○は なにはの女の 傷におもへり」という短歌の正確な文言を知りたい。

A. 短歌の最初の句がわかるなら『与謝野晶子全歌集総索引』（有朋堂）で出典を調べることができます。

「かくばかり」を見ると『朱葉集』398番と載っていたので確認したところ、該当の短歌ではありませんでした。

そこで「なにはの女」を手がかりに、『堺と与謝野晶子』（与謝野晶子生誕百年記念事業委員会）の中に掲載されている「ふるさとを詠んだ詩歌」の章に載っていないかと調べると、ご質問の短歌が載っていました。

正しくは「かばかりも なよなよとせる 心せば 浪華育ちの 瑕に思へり」（『さくら草』15番）。『さくら草』は『鉄幹晶子全集』14巻（勉誠出版）に収録されています。

なお、この調査の後の平成23年9月に『鉄幹晶子全集』32巻（勉誠出版）が「全歌集五句索引篇」として発行され、はじめの語句だけでなく五句から調べられるようになりました。

Q. 与謝野晶子の自伝を読みたい。なければ、他の人が書いたものでもよい。

A. 自伝と呼べる著作はありませんが、『明るみへ』（日本図書センター）は自伝的な小説として、晶子と重ね合わせることができます。

また、『私の生ひ立ち』（刊行社）は、晶子が堺で過ごした幼年時代を書いた短編集です。

伝記としては、長男与謝野光聞き語りの『晶子と寛の思い出』（思文閣出版）、光の妻、迪子執筆の『思い出 わが青春の与謝野晶子』（三水社）、次女の妻道子執筆の『どっきり花嫁の記 ーははと与謝野晶子ー』（主婦の友社）などがあります。

Q.「住の江や 和泉の街の 七まちの 鍛冶の音きく 菜の花の路」（『鉄幹晶子全集』4巻収録『常夏』171番）の「七まち」とは何か。

A. 「鍛冶」というキーワードから『堺の刃物』（小谷方明／著）を調べたところ、「徳川幕府では享保15年（1730）に、堺市北旅籠町、桜之町・綾之町・錦之町・柳之町・九間町・神明町の七町の鍛冶に株をもたせ、製作した包丁に「堺極」という焼印を入れて、幕府の専売品として売りさばくことを許した。」という記述があり、「七まち」とはこの七つの町のことと判断できます。

現在も桜之町には刃物の伝統を受け継ぐ水野鍛錬所があり、店の前にこの歌碑が建てられています。綾之町には私設の休憩所「さかい 七まち 鳳翔館」があり、堺の歴史と文化についての展示があります。

ソテツさえ
ないてかえろと
いう堺さかい



堺かるた - いろはの「そ」

「ソテツさえ ないてかえろと いう堺」

妙国寺は永禄5年（1562）、当時堺を支配していた三好四兄弟のひとり、義賢から、蘇鉄よしかねと土地の寄進を受けた日珽上人じちていにより開かれた寺です。現在境内にあり、天然記念物に指定されている大蘇鉄は、その当時のものが生き続けています。

織田信長が安土城を築城した際、この妙国寺の蘇鉄を移植しました。遠い南国からきた蘇鉄は、当時、たいへん珍しかったのです。しかし、夜になると蘇鉄が「堺にかえろう」とすすりなくので、気の短い信長は「切り倒してしまえ」と命じました。家来が切り倒そうとすると、蘇鉄が血を流したので、さすがの信長も恐れをなして妙国寺に戻したと伝えられています。

参考文献：

『むかしの堺』 堺児童文化振興会
『堺のあゆみ』 堺文化史展覧会
『戦国 三好一族』 新人物往来社
『堺観光ガイド』 堺観光コンベンション協会

(<http://www.sakai-tcb.or.jp/index2.php>)



資料（点検）整理期間による 休館のお知らせ

館内にある資料の点検や配置換えを行います。

北図書館 12月13日(火)～16日(金)

人権ふれあいセンター図書ホール
1月18日(水)、19日(木)

美木多分館 1月25日(水)、26日(木)

東図書館 1月31日(火)～2月3日(金)

梅分館 2月8日(水)、9日(木)

美原図書館 2月21日(火)～24日(金)

司書のイチ押し!

『流れる星は生きている』

藤原 てい / 著 中央公論社

この本は、第二次世界大戦の終戦時に満州から三人の幼い子どもを連れて日本に引揚げてきた一人の「母」の記録です。

敗戦当時、日本本土以外で暮らしていた日本人は命がけで日本に引揚げてきました。この「引揚者」の数は満州からだけで100万人を超えるといわれていますが、その旅路は「生きて帰れただけ幸運」と言われるほど過酷なものでした。戦後70年近くたち、その苦難は遠い過去のできごととして忘れられようとしています。その中であって、この本は「引揚げ」という歴史的事実を物語る一冊となっています。

昭和24年(1949)に日比谷出版社から出版されて以来半世紀にわたって、文庫本や児童書、大活字本等、何度も版を重ねてきました。これほど長いあいだ読み継がれてきたのは、一つは「母」の強さに心をうたれること、もう一つは、極限下での人間のありさまがきれいごと抜きで正直に綴られているからだと思います。

飢え、凍え、病気、数々のむごい扱いを受けながら、三人の幼い子どもを連れて「母」は「戦争だ、戦争だ、生きるための戦争だ」と決意を固め

生き抜いていきます。そしてかろうじて命をつなげ、無事故郷に帰りついたのでした。

三人の子どものその後を記しておく、命が危ぶまれた赤ちゃん咲子は、愛娘「チャキ」として無事育ち、母となった後、60歳近くになってから『母への詫び状』(藤原咲子/著)を著しました。心優しき長男正広はエンジニアに、そして、「お母ちゃん、もっと食べたいよう」といって泣いていた次男の正彦は、数学者になりました。『世にも美しい数学入門』『国家の品格』の著者、藤原正彦です。

余談ですが、『流れる星は生きている』がベストセラーになったことに刺激を受けた筆者の夫は、気象庁勤めのかたわら秘かに筆をとり、『強力伝』(新田次郎/著)を書きあげました。作家「新田次郎」の誕生です。『絆』(藤原てい/著)によると、受賞して妻に言った言葉は「ざまあみろ」だったそうです。ああ母は強し、そして夫も強しです。

堺図書館サポーター倶楽部で長年活動してこられたボランティアTさんに薦められたことがこの本を読むきっかけとなりました。人との出会い、本との出会い、ほんとうにかけがえのないものです。(S)



知的書評合戦

「ビブリオバトル」 開催のお知らせ

いま、世間で静かなブームになっている「ビブリオバトル」。堺市で初めての開催です。

協力：堺図書館ビブリオバトル倶楽部

平成24年 テーマ
1月15日(日) 「新」
2月19日(日) 「二人」
3月18日(日) 「ことば」

ビブリオバトルとは、立命館大学の谷口忠大氏が考案した競技スタイルの書評発表会です。テーマにちなんだ本を発表者が順番に紹介し、観戦者が質問して語り合い、最後に「一番読みたくなった本」をみんなで決定する、人を通して本を知るイベントです。

各回発表者6人、観戦者30人、中央図書館にて募集中です。



堺市立図書館電話番号一覧

音声応答サービス	280-0415	東図書館	235-1345	北図書館	258-6850
中央図書館	244-3811	初芝分館	286-0071	美原図書館	369-1166
くすのき号	244-3811	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター図書ホール	245-2534
堺市駅前分館	222-0140	南図書館	294-0123	青少年センター図書室	228-6331
中図書館	270-8140	梅分館	296-0025	ホームページ URL	http://www.lib-sakai.jp
東百舌鳥分館	234-9600	美木多分館	296-2111	携帯ホームページ URL	http://www.lib-sakai.jp/m/

